

令和5年度事業報告

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

I 庶務の概要

1 会議等

(1) 理事会

年月日	事項	主な内容
R5.6.2	第33回理事会 (森林組合会館 3F 会議室)	1. 令和4年度事業報告及び決算の承認 2. 評議員及び監事の辞任に伴う後任者の推薦 3. 理事の退任に伴う後任者の推薦 4. 第14回定時評議員会開催の設定 <報告事項> 1. 代表理事等の職務執行状況の報告 2. 財政的援助団体に係る宮城県監査委員会の監査結果
R5.6.19	第34回理事会 (森林組合会館 5F 会議室)	1. 理事長, 副理事長, 常務理事の選定
R6.3.18	第35回理事会 (森林組合会館 3F 会議室)	1. 定款の一部改正 2. 関係規程の一部改正 3. 令和6年度事業計画及び収支予算の承認 4. 利益相反取引 <報告事項> 1. 代表理事等の職務執行状況の報告 2. 資産運用の経過報告

(2) 評議員会

年月日	事項	主な内容
R5.6.19	第14回評議員会 (森林組合会館 3F 会議室)	1. 基本財産に関する件 2. 令和4年度計算書類及び附属明細書並びに財産目録の承認 3. 理事の選任 4. 監事の選任 5. 評議員の選任

(3) 監査

年月日	事項	主な内容
R5.4.25	定期監査 (森林組合会館 3F 会議室)	1. 代表理事等の職務の執行状況 2. 令和4会計年度の事業報告及び決算

2 登記に関する事項（仙台法務局）

年月日	事項
R5. 6. 25	役員並びに代表理事の就任に伴う変更登記

3 認定法に基づく報告事項（宮城県知事）

年月日	事項
R5. 5. 11	公益事業変更届出書の提出
R5. 6. 5	令和4年度事業報告書等の提出
R5. 11. 9	役員の変更の届出
R6. 3. 26	令和6年度事業計画書等の提出

4 役員等に関する事項

(1) 評議員（任期4年：令和7年定時評議員会まで）

職名	氏名	所属・職名
評議員（会長）	清 和 研 二	東北大学名誉教授
評議員	渡 辺 修	宮城県水産林政部副部長（技術担当）
評議員	佐 藤 千 昭	栗原市市議会議員
評議員	村 尾 寿 昭	農林中央金庫仙台支店副支店長
評議員	高 橋 壯 輔	一般社団法人宮城県林業公社理事長
評議員	早 坂 みどり	住空間工房代表

(2) 理事（任期2年：令和5年定時評議員会まで）

職名	氏名	所属・職名
理事（理事長）	大 内 伸 之	宮城県森林組合連合会代表理事会長
理事（副理事長）	菅 原 俊 明	宮城県水産林政部林業振興課長
理事（常務理事）	浅 野 浩一郎	宮城県森林組合連合会代表理事専務
理事	佐々木 孝 弘	仙台市経済局農林部長
理事	阿 部 正 志	加美町森林整備対策室長
理事	高 橋 長 晴	南三陸森林組合代表理事組合長
理事	米 澤 光 秀	宮城県木材協同組合理事長

(3) 監事（任期4年：令和7年定時評議員会まで）

職名	氏名	所属・職名
監事	小 野 和 宏	宮城県町村会理事兼事務局長
監事	村 上 泰 介	宮城県水産林政部森林整備課長
監事	佐 藤 則 明	栗駒高原森林組合代表理事組合長

※ 役員等の所属・職名は就任時のもの。

Ⅱ 公益事業

1 公益目的 1

1) 普及啓発事業 (運用益)

森林の働きや森林管理の重要性、木の良さ等を広く一般に啓発するため、第16回「みやぎの森林・林業写真コンクール」を開催して応募作品の展示・公開を行ったほか、森林資源の再生産に向けた森林づくり活動に支援した。また、県内事業体の活動紹介と併せ、各種研修案内など林業に関する情報を広く発信するため、情報誌である「MIYAGI FORESTRY JOB NAVI Vol.2」を発刊した。

第16回写真コンクール 募集テーマ ・みやぎの森林に生きる ・宮城の森林の恵み ・宮城の森林のぬくもり	応募 53名(男42名, 女11名), 出品数124点 展示 ・東北電力グリーンプラザ(アクアホール) 11月28日~12月2日 来場者1,126人 ・県民の森中央記念館展示ホール 2月1日~3月20日
---	---



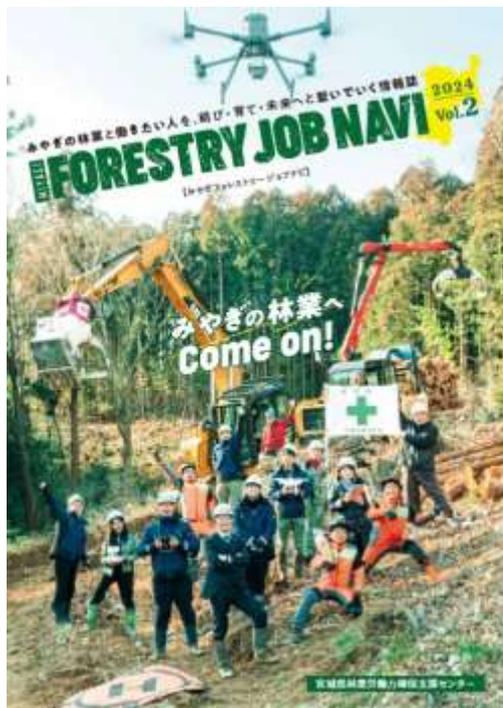
最優秀賞「生命」(いのち)



優秀賞「空中散歩」



優秀賞「ひと休み」



「MIYAGI FORESTRY JOB NAVI」(Vol.2)

2 公益目的2

1) 森林整備担い手対策基金事業 (運用益, 補助: 宮城県)

林業雇用環境の改善に向けて, 事業主が負担する共済掛金の一部に対して助成を行った。また, 林業従事者の社会保険等の加入促進に向けて, チラシの配架や事業体への助言を行った。

助成先	人数	助成金額	助成内容
森林組合(16), 県森連 林業事業体(33)	283人 276人	5,200,000円 4,909,000円	林退共及び中退共の掛金
計	559人	10,109,000円	運用益:7,909千円 県補助:2,200千円

3 公益目的3

1) 林業担い手育成確保対策事業 (補助: 宮城県, 委託: 全森連)

林業労働力の確保・育成に関する情報交換を図るため, 林業労働力確保支援センター運営協議会を開催し, また, 宮城労働局との連携強化を図るため, 同局が主催する「林業雇用改善推進会議」との合同開催として実施した。

その他, 林業への新規就業促進と職場定着を図るため, 労確センターの林業雇用管理改善アドバイザーと連携し, 林業事業体の雇用管理改善を支援する研修を実施したほか, 事業体の雇用改善の取組を補佐するため, 個別相談を実施した。

- ① 林業労働力確保支援センター運営協議会及び林業雇用改善推進会議合同会議
 日時: 令和6年2月22日
 委員数: 10名
 内容: 関係者による雇用情勢・林業労働力対策等に関する意見交換
 (宮城労働局, 宮城県, 労確センターから情報提供)

- ② 雇用管理改善研修・事業体の雇用改善に関する個別相談
 林業雇用管理研修会 (第1回)
 日時: 令和5年9月26日
 参加者: 14事業体 (森組8, 民間6), 参加者24
 林業雇用管理個別相談会 (第1回)
 日時: 令和5年9月28日
 参加者: 2事業体 (森組2)
 林業雇用管理研修会 (第2回)
 日時: 令和5年12月6日
 参加者: 12事業体 (森組5, 民間7), 参加者21
 林業雇用管理個別相談会 (第2回)
 日時: 令和5年12月7日
 参加者: 1事業体 (森組1)



研修の実施状況①



研修の実施状況②

2) 無料職業紹介事業

厚生労働大臣の許可を受け、林業分野の求人求職の紹介斡旋を行った。また林業就業支援受講生を対象に合同面接会を実施した。

ア 求人求職紹介斡旋

区分	令和5年度	令和4年度
求人依頼	30 事業体 (68 名)	22 事業体 (51 名)
求職希望	12 名 (うち就業決定 6 名) ※ガイダンス等受講斡旋 (5 名) (受講者の就業 4 名)	8 名 (うち就業決定 3 名) ※ガイダンス等受講斡旋 (2 名) (受講者の就業 1 名)

イ 合同事業体説明会

日時	令和5年11月24日(金) 10:00~15:00
場所	エスポールみやぎ(宮城県青年会館)大会議室
参加者	(求人) 16 事業体 相談者 (16 名: 男性 14 名 女性 2 名)



会場の様子①



会場の様子②



個別事業体による就業相談①



個別事業体による就業相談②

3) 就労環境改善事業 (補助：宮城県)

林業事業者等が就業者の安全な作業を確保するため、安全防具等の装具を整備する経費の一部を助成した。(助成事業体数：23)

品名	数量		品名	数量	
	R5	R4		R5	R4
ヘルメット	76	28	かかり木処理	28	4
防護作業衣	213	43	救急用担架・医療セット	9	60
防護作業靴	62	35	その他	—	8
空調服	89	98	合計	477	276

4) 宮城県森林マネジメント力強化支援業務 (委託：宮城県)

事業者の安定的経営の実現に向け、経営ビジョン策定など実践的研修を通じ、経営者層の経営感覚の醸成と意識改革を進める講演・研修を実施したほか、森林施業プランナーの実践力向上に向け、コスト分析や現場実践の支援研修を実施した。

区分	回数	参加事業者数及び参加者数
経営者向け講演会	1回	27事業者 (35名)
経営者向け研修会	4回	6事業者 内訳：森林組合5, 民間1
森林施業プランナー研修	3回	5事業者 内訳：森林組合3, 民間2



経営者層向け講演会



経営者層向け研修



プランナー力強化研修(個別)



プランナー力強化研修(事業者訪問)

4 公益目的4

1) 林業就業支援業務 (委託：宮城県, 委託：全森連)

林業への就業を希望される方または強く興味を持つ方に対し、事前に森林・林業の基礎知識を学び、また、林業技術の実務体験を通じて、林業への就業意識を醸成する機会として講習等を実施し、円滑な就業に向けた支援を行った。

ア 林業就業支援講習

林業事業者への就業を希望する方を支援するため、講習を平日に集中開催する。

講習期間	日 数	受講者(人)		
		男	女	計
R5. 11. 7～R5. 11. 22	12 日間	5	0	5



座学の状況



体験実習の状況

イ 新規林業就業者育成支援研修

林業事業者への就業を希望する現在修行中の方を支援するため、研修を土曜日又は日曜日に開催する。

講習期間	日 数	受講者(人)		
		男	女	計
R5. 8. 27～R5. 11. 12	9 日間	12	2	14



シミュレーター(ハーベスタ)の体験実習



林業事業者の現場体験

ウ インターンシップの実施

就労意欲が高く、早急な就業を希望される方に対し、事業者とマッチングを行い、実際の現場で作業を見学・体験してもらい、円滑な就業を支援した。

講習期間	日 数	受講者(人)		
		男	女	計
R5. 11. 11, R5. 12. 9	2 日間	6	0	6



現場での職員による講義



高性能林業機械の操作体験



チェーンソー作業体験



下刈機械作業体験

2) 山仕事ガイダンス開催業務 (委託：宮城県)

林業に興味のある人や就業を考えている人の意識高揚と林業の実態の理解に向け、林業事業者等による仕事の内容や就業後の支援に関する説明や、森林・林業の現状や就業までの流れに関する説明、就業後の支援内容の紹介、現地見学などを実施した。

回	年 月 日	時間	研 修 項 目
1	6月3日(土) 申込 8名, 参加 8名	①10時～12時 ②13時～15時	○林業の現状について ○林業への就業について
2	9月30日(土) 申込 14名, 参加 11名	①10時～12時 ②13時～15時	○林業事業者からの説明：大桑林産(株) ○個別相談
3	12月16日(土) 申込 4名, 参加 3名	10時～15時	○林業の現状について ○林業への就業について ○作業の現地見学：石巻地区森林組合 ○高性能林業機械シミュレーターの操作体験



林業事業者からの説明



林業の現状について



林業作業の現地見学



シミュレーター(ハーベスタ)による操作体験

3) 「緑の雇用」担い手確保支援事業 (委託：全森連)

事業を実施する認定林業事業者を対象に事業計画・事業実績の取りまとめ及び指導並びに監督・検査を実施するとともに就業者(研修生)に対し集合研修を実施した。

研修区分	研修日数(日)	受講者(人)
フォレストワーカー(1年目)集合研修	22	19
フォレストワーカー(2年目)集合研修	25	14
フォレストワーカー(3年目)集合研修	21	13
フォレストワーカーOJT研修	8ヶ月	46
フォレストリーダー	16	10



書類検査

【監督検査】



OJT研修



座学の状況



伐倒技術実習

【集合研修】



フォワーダ操作実習



ハーベスタ操作実習

【集合研修】

4) メンテナンス技術等支援業務 (委託：宮城県)

高性能林業機械のメンテナンスに関する明確な知識と技能を習得するため、日常の保守・点検・脱着手順等を学び、簡易な故障に緊急対応できる操作者を養成した。

研修の名称	開催年月日・受講者数
高性能林業機械メンテナンス技術等支援研修(1回目)	令和5年9月12日・11名
高性能林業機械メンテナンス技術等支援研修(2回目)	令和5年10月3日・12名



学科研修



技術実習

5) 安全講習等助成支援事業 (委託：宮城県)

ア 安全講習・技能講習等助成

認定事業体や育成経営体等に所属する従事者が、安全な作業を行うのに必要な、「安全講習」や「技能講習等」の受講に要した経費の一部を助成した。

講習項目	事業体数	受講者(人)
刈払機取扱作業安全衛生教育	10	20
伐木の業務に係る特別教育	12	22
荷役運搬機械等によるはい作業従事者安全教育	2	3
車両系建設機械(整地等)運転技能講習	4	10
不整地運搬車運転技能講習	1	1
小型移動式クレーン運転技能講習	4	5
玉掛け技能教習	4	6
伐木等機械の運転の業務に係る特別教育	6	13
走行集材機械の運転の業務に係る特別教育	4	9
簡易架線集材装置等の運転業務	0	0
合計	20	89

注) 事業体数の合計は実事業体数、受講者数の合計は延べ人数

イ 伐倒技術指導者養成研修

依然として減少しない伐倒作業における労災事故の防止に向けて、正確で安全な伐倒技術を身に付け、技術が未熟な新人等にコーチングできる指導員を養成した。また、技術普及に向けて、指導案を作成した。

区分	期間	日数	備考
指導者養成研修	令和5年4月11日～4月14日	11日	受講者4名 Check&Clinic 研修修了者
	令和5年4月24日～4月28日		
	令和5年6月7日(準備:6月6日)		成果発表会
Check&Clinic研修	令和5年5月16日～5月19日	7日	受講者4名
	令和5年5月23日～5月25日		
フォローアップ研修	令和5年12月19日～21日	3日	受講者1名



Check & Clinic 研修(室内)状況



Check & Clinic 研修(実習)状況



指導者養成研修状況



指導者養成研修(成果発表会)状況



伐倒指導者認定式



フォローアップ研修の状況